

## 加波山山行報告



【山行日】2019年 3月 17日(日) 晴れ

【集 合】鹿窪運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 500円

【メンバー】CL: 鈴木ユ 安西、大西、小松原、島田、清水、鈴木ヒ、関、五月女、田村、福島、渡辺

【コースタイム】鹿窪運動公園 P6:00＝雨引観音

P6:30/6:55～燕山 9:20/9:30～加波山神社 9:50～

加波山 10:05/10:20～加波山神社 10:35～

燕山下東屋 10:50/11:30～雨引観音 P13:40/13:55

＝ドライブイン「裏筑波」14:20/14:35＝鹿窪運動公園 P15:10

ロングトレイルを歩くトレーニング山行第2弾は、雨引観音から加波山を往復するコースを計画した。筑波山や加波山山行の時は鹿窪運動公園集合になるが、初めての方は心配で早めに着いたようだ。鹿窪運動公園を少し早く出発し、雨引観音駐車場へ20分早く着いた。駐車場は広いが、トイレが1個しかなく女性の皆さんは時間が掛かってしまう。石段を上った社務所の中にトイレがあるが、早い時間は開いて無く利用できない。

準備を整え、ストレッチを済ませたら出発する。石段を上がり本堂がある広場に出ると、河津桜が満開で後ろの多宝塔とのロケーションが素晴らしい。記念写真用の看板が置いてあるので、看板を前に記念写真を撮ると孔雀が前を横切っ



て行く。雨引山法楽寺には孔雀が放し飼いにされ、人懐っこく近づいてくる。本堂をお参りし右に進むと、雨引山への登山道に出る。登山道の改修工事をしているが、広く歩き易い登山道を進むと溝状の登山道を登るようになる。登り切ると分岐に出て左は雨引山へ、右は燕山と加波山への登山道になる。右に燕山に向かって山腹をトラバースするように進み、崩れた階段状の道を下って登



り返すと歩き易い道になる。自然林の明るい尾根歩きになり、気持ちよく歩ける登山道が続く。時折植林帯の中を歩くようになるが、概ね自然林の尾根を歩き4月には山桜、5月にはヤマツツジが目を楽しませてくれる。猪が登山道脇の笹の根を食べるため掘り返し、登山道がデコボコに荒されている。

それでも土の登山道は足に優しく、皆さん楽しんで歩いているようだった。途中、陽だまりの尾根で休憩し、パイナップルや菓子を食ベエネルギーを補給する。

緩やかな尾根道を進み右に直角に曲がった先から傾斜が急になり、燕山への急登が始まる。ゆっくりしたペースで登って行き、少しずつ高度を上げて行く。風が少しあるが陽射しを受けて寒さは感じないが、日陰に入ると少し肌寒い。



急坂を登り切ると平坦な道になり、少し先に山頂の標識が立つ燕山に着く。休憩を取り徳ちゃんのイチゴをいただき、水分を補給する。山頂から下ると大きなアンテナが立ち並び、2つ目のアンテナの脇に東屋が建っている。ここに戻ってから昼食の予定だが、T村さんが体調不良で待機したいと言う。我輩が付き添ってここで待つことにし、他の皆さんは加波山山頂を目指す。

車道を緩やかに下り途中から山道に入り、鳥居をくぐると加波山神社拝殿と社務所がある。拝殿前で記念写真を撮り、ここから加波山への登山道「禅定道」を登って行く。ここから上部の道の傍らには石碑が林立し、社も多く建っている。親宮本殿、次にはたばこ神社、さらに登ったピークに加波山神社本殿が鎮座している。次の三角点がある加波山山頂には本宮本殿、少し下った先に本宮拝殿がある。山頂で記念写真を撮ろうとしたら、50名ほどの団体が居て時間が掛かる。団体が写真を撮り終わった後、記念写真を撮り下山する。下山は往路を戻り、2人が待つ東屋でランチタイムとする。ランチの準備をして待っていたので、皆さんの姿が見えたらうどんを作り始める。天ぷらうどんに出汁巻き卵、漬物やほうれん草のおひたしが並び豪華な山ご飯になった。お腹いっぱいになったら後片付けし、往路を戻り下山する。皆さん元気に下山し、無事に雨引観音に到着した。社務所でトイレを済ませて車に戻り、靴を履き替えたら帰路につく。途中、裏筑波ドライブインに寄るが、コンビニなのでお土産などは少なく皆さん買い物は出来なかったようだ。50号線を通り川島で少し渋滞したが、予定より早く鹿窪運動公園に到着した。

